

監視委員会の活動報告

「エコフロンティアかさま」監視委員会が平成16年12月に発足しました。昨年8月には「エコフロンティアかさま」が稼動し、本格的に監視活動を開始。新笠間市になり、エコフロンティアかさま監視委員会(青木邦久委員長ほか12人)が再発足し、監視内容も処分場の各施設での処理状況、場外での搬入車両対策など広範囲に行っています。今後、監視活動状況について随時報告していきます。

▲監視活動

監視委員会は、年間計画を策定し毎月定期的にデータ監視・現況監視などの活動を実施しています。



監視の様子

▲主な監視結果

・施設の維持管理(一般廃棄物・産業廃棄物)

監視項目表に基づき、展開ヤードで産業廃棄物の受け入れ検査を行い、適正に処理していることや事業団から提示されたデータを確認し、受け入れ管理について現地確認を行い、異常がないことを確認した。

・通行禁止区域における廃棄物の搬入車両

「エコフロンティアかさま」への廃棄物搬入車両については、車両表示証の設置が義務付けられている。笠間地区の通行禁止区域を通過していないか、笠間地区4か所で現地監査を行った。結果は、ほとんどの車両は表示証を表示していたが、数台の車両が表示せず、事業団より指導をするよう指摘した。

・廃棄物の受け入れ(溶融処理対象物・受け入れ基準の適否)

契約から搬入までの流れとして、廃棄物処理委託申込書を事業団で受け付け、受け入れ事前審査(受け入れ可能な廃棄物の審査)、現地調査を行い、必要な資料提出、契約締結、廃棄物の搬入を行っていることを確認した。

▲事業団へ要望書提出

《要望書内容》

監視委員会として、笠間地区の通行禁止区域での産業廃棄物搬入車両の表示や「エコフロンティアかさま」での従事者の鳥インフルエンザにかかる抗体検査の要望書を提出した。

《回答内容》

車両表示証を、A3判で表示の色を目立つ黄色に変更する。車両表示証の裏面に通行可能な路線を明示、搬入車両はフロントガラスに表示する。また、鳥インフルエンザの感染の可能性については、詳細が不明であることから、県が調査を進めているので、県の調査結果を待って対応を検討する。

問合せ 環境保全課(内線127)